

2025 年度
令和 7 年度
事業報告書

公益財団法人 水産無脊椎動物研究所

2025 年 度 事 業 報 告

I. 事業の状況

2025 年度の事業計画に従い「助ける」「集める」「広める」事業を行った。助成を受けた研究者・学生の調査研究活動は順調に実施され、イベントは 1 件実施した。

1. 「助ける」研究助成事業

2025 年度の研究助成応募数 94 件（個別研究 67、育成研 27）から、採択した 13 課題（個別研究 10、育成研究 3）、および育成研究 2 年目の 4 件に対して 4 月中旬、助成金 13,693,000 円を交付した。これによりこれまでに助成した課題数は 305 課題、助成金額の累計は 318,457,890 円となった。

上記課題はおおむね順調に研究を進めた。2019 年度育成研究助成 1 件は、報告書提出を延長していたが、今年度で提出し完了した。2023 年度育成研究助成 4 件のうち 1 件は 1 年目の報告書が未提出である。2024 年度個別研究助成課題 1 件が報告書の提出を延長、2023 年度育成研究助成が 1 件延長を希望した。そのほか、延長中の課題については報告書が提出され、研究を完了した。

2. 「集める」研究情報・資料・論文の収集、図書の交換、学会の聴講等

（1）軟体動物後鰓類（ウミウシ類）を中心とする水棲の無脊椎動物に関する研究

情報と画像等、近年出版された研究情報や論文などを収集した。今年度は、茨城県でウミウシ類やヒラムシ類を中心に撮影、これまでに撮影した画像の整理と同定を進め、一部は Web サイトの図鑑にアップした。

茨城県自然博物館が中心となっていて行なっている茨城県ひたちなか市での調査に継続的に参加し、生物分布情報の収集を行った。一部は当財団の web サイトの生物図鑑に画像を追加した。

（2）資料・論文の収集と保管

出版された論文や本を収集し保管した。また、文献の PDF 化を進め、文献データベースの整備を進めた。

（3）学会等の聴講

水棲の無脊椎動物全般の研究情報を収集するため、以下の学会年会、シンポジウムおよび講演会に参加し、情報を収集した。

日本生物地理学会、日本動物学会名古屋大会、その他、オンライン研究会やシンポジウムなどに参加した。

このなかで、新しい研究情報や施設等の情報を得て、そのうちのいくつかについて「うみうし通信」に執筆依頼し、掲載した。

3. 「広める」研究情報や海の無脊椎動物の知識を普及啓発すること

(1) 機関誌「うみうし通信」の発行

当財団の機関誌であり、博物館・研究所等との交換図書にもなっている。今年度は No. 127～No. 130 までの 4 号を発行した。

印刷部数は 1,000 部、配布部数は約 700 部、うち、有料配布は「うみうしくらぶ」会員。無料配布は、国会図書館、官公庁、試験研究機関、博物館、水族館、大学などの図書交換先、および寄付者、財団賛助会員、財団関係者などである。

また、情報をより一般にも広めるため、著者の同意が得られたバックナンバーは、財団 WEB サイトで公開している。今年度は No. 127～130 を公開した。

(2) 「うみうしくらぶ」会員および財団賛助会員の維持と発展

うみうしくらぶの期末会員数は 232 名。うち法人会員は 8 団体、個人会員 224 名となった（個人会員の新加入 11 名、個人から団体会員へ移行 1 団体、退会 14 名）。退会の理由は退職などが挙げられる。新入会も順調に続いており、インターネットで Web サイトを見つけてという理由が多かった。近年のウミウシ類の人気の影響が考えられる。新規入会では、小学生を含む若い世代の入会が続いている。

財団賛助会員は今年度末に 28 名となった（移行 1 名、退会 2 名）。賛助会員数はほぼ横ばいであるため、今後、広報活動をしていく必要がある。

両会員の合計は 260 名（昨年より+4 名）となり増加した。

(3) 子供向けおよび大人向けの観察会の実施

1 件の観察会を実施し、報告を Web サイトに掲載した。

・「親子で楽しむ海の生き物わくわくウォッチング 2025」

5 月 31 日（土）に観音崎自然博物館（神奈川県横須賀市）で開催した。雨の中での実施となったが、当日参加者は 38 名（大人 22 名、中学生以下 16 名）であった。午前中は海藻（ユカリ）の標本作りを行い、午後に磯での観察を行った。

(4) 財団 WEB サイトの拡充

WEB サイトにて 2025 年度研究助成採択課題および財団の情報公開をすみやかに行った。サイトコンテンツの更新を進め、うみうし通信の電子版の順次公開や図鑑写真の見直しなどを進めた。また、Web サイトの図鑑については、研究者から画像提供を受け、同定および画像の更新を行なった。

財団メーリングリストを運用し、会員向けと非会員向け（イベント参加者と登録希望者）にイベント情報やその他情報の配信を行った。

(5) 生物分布情報の活用

財団が保管する生物の分布情報について、2020 年度より海洋研究開発機構（JAMSTEC）を窓口とする国連ユネスコ傘下の国際的なデータベース（OBIS）へのデータ提供をしている。

(6) 問い合わせ対応

水棲の無脊椎動物に関する 7 件の質問や画像の使用に関する問い合わせに対応した。問い合わせはメディア・書籍関連 3 件、機関 1 件、個人 3 件であった。

(7) 他機関への協力

茨城県ひたちなか市で行われた茨城県自然博物館および地球レーベル主催の観察会に、共催として協力した。

・6 月 1 日（日）：地球レーベル主催「磯の生き物観察会」

※5 月 17 日（土）ミュージアムパーク茨城県自然博物館主催『自然ラボ「磯の動物を観察しよう」』は雨天のため中止

Ⅱ. 財団の運営

1. 理事会

● 第 1 回理事会 2025 年 5 月 16 日

決議事項 ・ 2024 年度事業報告及び収支決算

・ 定時評議員会の開催

報告事項 ・ 代表理事及び業務執行理事の職務執行の状況報告

・ その他の報告事項

決議 決議の省略手続きによる

理事全員からの同意および監事から異議が無かったので理事会決議があったものとみなされた。

● 第 2 回理事会 2026 年 3 月 10 日

決議事項 ・ 2026 年度 事業計画及び収支予算

・ 2026 年度 研究助成課題の決定

・ 基本財産の除外の承認

・ 評議員会の開催

報告事項 ・ 代表理事及び業務執行理事の状況報告

・ 公印記録簿、その他の報告事項

決議 決議の省略手続きによる

理事全員からの同意および監事から異議が無かったの で

理事会決議があったものとみなされた。

2. 評議員会

●定時評議員会 2025 年 6 月 16 日

- 決議事項 ・ 2024 年度事業報告及び収支決算の報告
決議 ・ 評議員全員から書面による同意の意思表示を得たので
決議事項を可決する旨の評議員会の決議があったものと
みなされた。

●第 2 回評議員会 2026 年 3 月 19 日

- 決議事項 ・ 2026 年度事業計画及び収支予算
決議 ・ 評議員全員から書面による同意の意思表示を得たので決
議事項を可決する旨の評議員会の決議があったものとみ
なされた。

3. 専門委員会

●第 1 回専門委員会 2025 年 9 月 2 日

オフィス東京 A4 会議室

- 議 題 2026 年度助成課題募集要項の決定
延長課題および 2024 年度実施研究助成課題の報告書評価

●第 2 回専門委員会 2026 年 2 月 25 日

オフィス東京 A4 会議室

- 議 題 2026 年度研究助成課題の審査
理事会への推薦課題の決定

4. 事務的事項

1. 内閣府への提出と届出

2025 年 6 月 5 日 「事業報告等の提出」電子申請

2026 年 3 月 24 日 「事業計画書等に係る提出書」電子申請

2. 公告（情報公開）

Web サイト上の「2024 年度事業報告書」と「2025 年度事業計画及び収支
予算」を更新した。

3. 「広める」告知など

2025 年度研究助成の採択課題を WEB サイトとうみうし通信 No. 127 で公
表した。また、研究助成やうみうし通信発行の告知等は SNS（X と Facebo

ok) を活用して広報した。

4. 資料の電子化など

過去の事業資料や広報誌などの電子化を実施した。電子ファイルはクラウドに保管し、リモートワーク時にも資料を閲覧することが可能となった。また、問い合わせ時の資料としても活用できるなどのメリットもあるため、情報整理および業務の効率化のため継続して進めている。

5. 寄付金など

寄付や賛助会員制度により一定の寄付をいただいている。うみうし通信や会員向け書面での案内、SNS でのサイト紹介などの広報活動を行い、総額 378,000 円（前年度からは 3.1 万円増の寄付をいただいた。継続的にご支援をいただけるような工夫をしたい。

2025 年度は 28 名の個人から寄付をいただいた。皆様に謹んでお礼申し上げます（お名前は、ご承諾いただいた方のみ記載）。

小谷中 茂樹 様、児玉 光士 様 ほか 1 名

〔賛助会員〕 青山 銀二 様、今野 誠一 様、小川 太遠 様、
河野 えり子 様、佐藤 正典 様、鈴木 美里 様、芹澤 和泉 様、
竹中 伸也 様、田中 綾 様、田中 正則 様、西川 輝昭 様、
本間 拓己 様、小野 進之介 様 ほか 12 名